Press Release

2014 年 5 月 30 日
株式会社エブリスタ

～「ギャルを日本の伝統文化に」とプロ作家の道へ！～
元 SDN48 なちゅさんを“スマホ作家特区”に指定
ギャル文化の聖地 渋谷を舞台に激動の人生を描く

http://estar.jp/_sp_zone

株式会社エブリスタ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：池上 真之、以下エブリスタ）は、当社が運営するスマホ小説・コミック投稿サイト「Ｅ★エブリスタ」（http://estar.jp/_sp_zone）上で募集した、スマホ作家育成制度「スマホ作家特区」の第 2 期支援対象者として、元 SDN48 のなちゅさんを指定いたしました。

「スマホ作家特区」は、2014 年 1 月より開始した、スマホ向け作品で作家として生計を立てていきたい、有名になりたいというクリエイターから“NEXT スマホ作家”を選び、半年総額 1,000 万円の育成費枠から毎月 10～20 万円の援助を行い、作品制作に集中できる環境を提供する制度です。
なちゅさんは、これまで「E★エブリスタ」上にて、エッセイを中心に執筆。いじめられっ子からサークルの総長となり、アイドルグループに入った自身の激動の人生のエッセンスを織り込んだ内容が人気を博し、多くの読者の方から支持を得てきました。今回のスマホ作家特区指定に伴い、「本格的にスマホ作家として作品制作を開始したい」と意気込んでおり、今後の活躍が期待されます。

【プロフィール】
名　　前：なちゅ
生 年 月 日：1984 年 12 月 23 日
出　身　地：大阪
趣　　味：小説、コミック、美容、ファッション
Ｔｗｉｔｔｅｒ：https://twitter.com/nachudesu1223
特　　徴：元 SDN48、ギャル書道家、ＨＹＫ～ｔｒａｃｅｖｉｅｗ～
　　都内ギャルサー「ハーク」初代代表・現顧問

※なちゅさんへのご取材も受け付けております。ご希望の方は下記事務局までお問い合せ下さい。

【コメント】
＜描きたい作品＞
スマホ作家として書いていきたい作品はズバリ「ギャル文化」です。
なぜなら私にとっての日本三大文化は「1.侍、2.お寿司、3.ヤマンバ！」だからです。
その中で私の大好きな「ギャル文化」が現在壊滅状態なので、伝統文化としてちゃんと残していく方法を考えたいと思っています。「ギャル文化」を通じて仲間や家族、恋人との
心の動きや絆を描けたらいいなと思っています。
あとは、恋愛でぐちゃぐちゃになる辛い話も書いてみたいです。自分がダメ男に騙されてばっかりだったので、この経験を生かせるかなと…。ハチ公に相談しながら頑張ります！（笑）

＜作家を目指す理由＞

こういう容姿って事もあってめちゃくちゃ明るい性格に思われがちなんですけど、
実はこう見えてすごくネクラなんです。部屋に 1 人でいるとピクリとも笑わない事も多々あったり…。
そんな私が何か辛いことがあった時に言葉にはできない事でも、文章を書く事で自分の感情をぶつけると楽になって何度も救われてきました。
以前から「文章だからこそ書ける想いが自分の中にあるんだ」って気付いていたのですが、自分に自信がなくてなかなか書けなかった。

でも今年 30 歳を迎えるにあたって、いろいろ考えた時に「自分に本気に向き合おう。」と思いました。そのひとつとして本気で作家を目指そうと決意しました。
私みたいな糞ギャルが小説家になる事で、今の若い子達に希望を与えられたら嬉しいです！

＜ギャル文化の今後について＞

　現在「ギャル文化」は壊滅状態にあり、ギャルサーも渋谷に数えるほどしかありません。
今後は「ギャル＝ダサい！」の、領域まで行ってしまうのではないかなと思っています。流行の最先端であった「ギャル」がダサいなんて時代が来ている…なんて悲しい限りです。
　私にとって一番楽しかった青春時代は「ギャル文化」一色でした。「ギャル文化」には感謝の気持ちでいっぱいなので「私自身が伝えて、絶対に残していきたい」と思っています。

スマホ作家特区とは

　これからスマホ向け作品で作家として生計を立てていきたい、有名になりたいというクリエイターから“NEXT スマホ作家”を選び、半年総額 1,000 万円の育成費枠から毎月 10～20 万円の援助を行い、作品制作に集中できる環境を提供する制度です。
　本制度は、2014 年 1 月より開始され、毎月 5 名の作家を目安に選出。選ばれたクリエイターは、E★エブリスタを通じた収入で生活ができるようになるまで援助金が支給されます。

■株式会社エブリスタとは
　株式会社エブリスタは、次世代のスマホ小説をプロデュースするスマホ出版社です。株式会社ディー・エヌ・エーと株式会社 NTT ドコモの合弁会社として 2010 年に設立されました。毎日 100 万人が訪問するスマホ小説サイト「E★エブリスタ」を通じて 200 万点以上の作品を配信しています。また、年間 100 冊以上のスマホ作品の書籍化プロデュースや、スマホ小説だけで生活ができる作家を育成する「スマホ作家特区」等、スマホ小説文化の発展に積極的に取り組んでいます。（http://everystar.jp/）